

令和6年度 えびの市立上江小中学校 重点指導項目			成果と課題	自己評価	外部評価	
【学校教育目標】 主体的に活動するたくましい上江っ子の育成					評価	コメント
【めざす児童生徒像】 ○礼儀正しく、元気のある子 ○目標をもって、自ら学ぶ子 ○気づき、考え、行動する子						
項目	重点目標と主な達成手段	具体的な取組と達成目標				
学力の向上	<p>【目標】 児童・生徒が主体的に学ぶ(学ぼうとする)力を高める。</p> <p>【手段】 主体的・対話的な授業を实践する。個に応じた指導方法の工夫や家庭学習の充実を図る。</p>	<p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 小中で系統性・継続性のある教育課程の実施・充実を図る。小中教員による乗り入れ授業を実施する。 (小→中・音楽、数学 中→小・算数)○ 1人1回の授業研究を行い、授業の工夫改善(授業力向上)に努める。空き時間を利用して、見たい授業を参観する。○ 個に応じた指導を充実させるために、算数・数学科において、少人数指導やT Tの授業を実施する。○ 学びの確認週間を充実させる。 <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 全国・県及び市の学力検査でそれぞれ平均点以上を目指す。	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 学力は伸びつつある。○ 算数においては、少人数指導やTTでの授業の成果もあり、全ての学年で市の平均点を上回った。○ 中学部1～3年生の県数テスト及び2・3年生の県英テストは、地区・県平均を上回った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">● 高い学力維持の児童・生徒がいる一方で支援を要する児童・生徒もいて、二極化している。● 支援を要する児童・生徒への対応が大きな課題である。	3	3	<ul style="list-style-type: none">○ 支援を必要とする児童生徒が増えていると聞く。また、支援員が配置されている学校と配置されていない学校があると聞く。本校では学力が2極化されている現状で、校内での支援体制を工夫され、取り組まれていることに感謝したい。今後も継続してお願いしたい。
豊かな心の育成	<p>【目標】 児童・生徒が豊かな心をもって行動する力を高める。</p> <p>【手段】 元気のよいあいさつの励行と基本的な生活習慣の定着、読書活動の推進を図る。</p>	<p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 主体的な「あいさつ運動」を通して、元気よくあいさつすることができる児童・生徒の育成を図る。○ 読書推進の工夫(図書館だよりの発行や新刊の紹介、先生方からのお勧めの本の紹介など)を通して、読書への意欲付けを行う。○ 「ピア・サポート活動」に関する教育活動を行い、思いやり、助け合い、支え合う人間関係を育んでいく。 <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 徳に関するアンケートで8割以上の児童・生徒が肯定的に回答する。○ 年間読書冊数 小学部12,000冊 中学部3,000冊	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 「あいさつ運動」は、主体的及び継続的に取り組むことができた。○ 授業や学校行事を通して、お互いに「認め、褒め、励ます」姿が見られるようになった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">● 年間読書冊数は、小学部 13,179 冊と目標を達成できた。中学部 1,937 冊と目標達成とはならなかった。増やす手立てを講ずる必要がある。	3	3	<ul style="list-style-type: none">○ あいさつ運動を公道で行っているが、運転手目線では、車が突っ込んだら大事故になるという不安があるので、校内で行うだけで良いのではないかな。○ あいさつ運動の目的を児童生徒が理解しているのか分からない。○ 重点目標の手段は、あいさつの励行ではなく生徒会活動の充実など生徒の活動を前面に出した方が良いのではないかな。○ 年間読書冊数が中学部は、目標達成していないが、平均して週一冊読書していることを考えれば良いのではないかな。
体力の向上	<p>【目標】 自己管理能力や体力を高める。</p> <p>【手段】 食育や自己管理能力の育成、立腰指導の充実を図る。体力づくり活動の工夫改善を図る。</p>	<p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 体力向上プランをもとに保健・体育学習の充実を図り、運動の楽しさを味わわせるようにする。○ 合同運動会や合同ロードレース大会・縄跳び月間に向けて体力を高める意欲をもたせる。○ 感染症対策や熱中症対策、睡眠時間の確保など自己管理能力を高める。○ 授業の始まりと終わりに立腰指導を行い、立腰姿勢の習慣化を図る。 <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 体力テストで昨年度以上の結果を目指す。○ 遅刻・欠席を減らす。	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 体力テストの結果を踏まえ、落ち込んでいる体力の要素を向上させるためのトレーニングメニューを作成し、長期休業中に取り組ませることができた。○ 各学年で傾向は違うが、A段階の児童・生徒が増え、D・E段階の児童・生徒が減った。○ 感染症で大きな拡大は見られなかった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">● 遅刻・欠席は、減ってきているが固定化しつつある。個々に合った対応を継続支援していかなければならない。	3	3	<ul style="list-style-type: none">○ 運動能力(握力)の低下に関して、ものにぶら下がる機会が乏しいのではないかな。○ 遅刻者が固定化していることが少し気になるが、保護者との連携が取れていれば良いと考える。根気強く連携を図って欲しい。
地域に貢献する人材の育成	<p>【目標】 郷土に誇りをもち、人のために尽くす力を高める。</p> <p>【手段】 「えびの学」を充実させるために、地域と連携した教育活動の充実を図る。</p>	<p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 地域学校協働活動や関係機関の外部講師を積極的に活用し、学習をより効果的・効率的に行う。○ 「えびの学」を通して、えびののよさを知り、そこで働く人のやりがいや苦勞を理解することで、キャリア教育を充実させる。○ 児童会・生徒会活動を通して、主体的な活動を促し、達成感や成就感を味わわせる。地域貢献活動を通して、地域に感謝する気持ちを高める。 <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 各学年・各学部で体験学習や地域貢献活動を実施する。	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 地域人材の活用や地域の事業所見学などを通して「えびの学」の充実を図ることができた。○ キャリア教育の充実を図ることができた。○ 上江交流フェステバルを開催できた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">● 社会の変化に対応したキャリア教育を今後も計画的に実施し、「自分の生き方」について、考えさせることが必要である。	3	3	<ul style="list-style-type: none">○ 地域の人材や事業所、飯野高校との連携等とても良いことである。今後も継続して欲しい。○ 上江交流フェスティバルに参加させてもらった。充実した取組であったと考えるが、中学生の参加の在り方について検討が望まれる。(中学生に企画・準備・運営を任せるなど。)

